

特別支援学校学習指導要領解説

児童生徒の日常生活が充実し、高まるように日常生活の諸活動を適切に指導するもの

日常生活の指導の手引

身辺生活の処理に関わる技能を高めることに留まらず、日常生活をより自立的・発展的に行うための生活意欲や生活態度を育てること

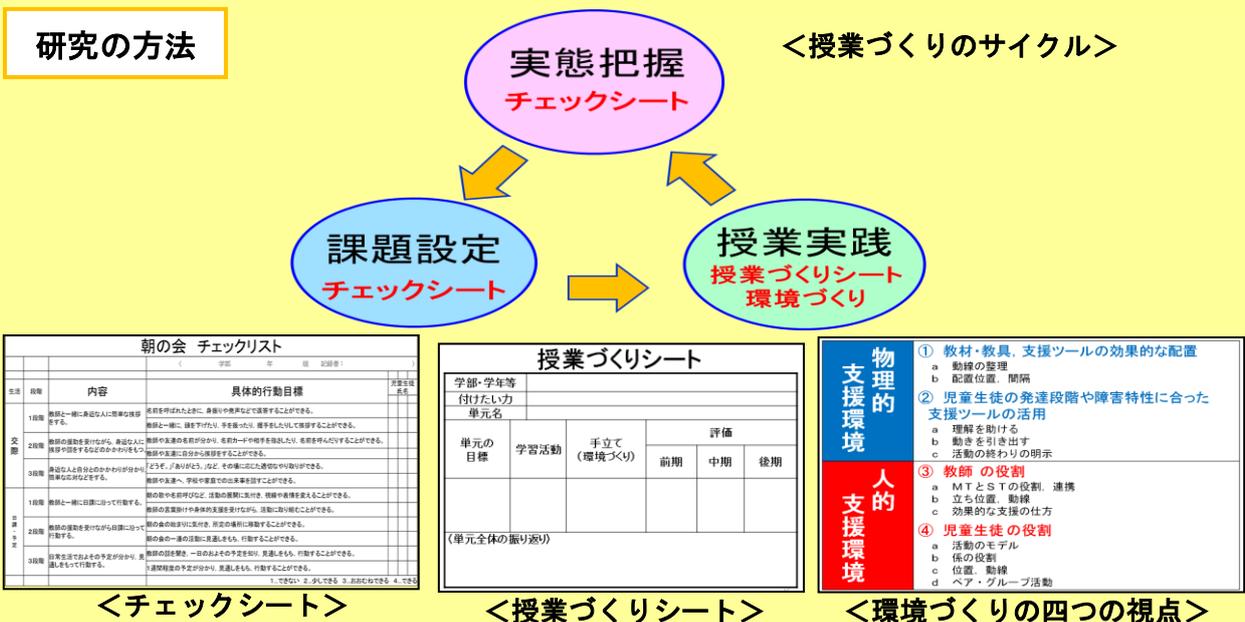
学校教育目標

児童生徒の自立と社会参加を目指し、一人一人の力を伸ばして、主体性をもって豊かに生きる人間を育てる。

研究の目的



研究の方法



学年	内容	具体的行動目標	達成状況
1年級	朝の会と一緒に身近な人に関する話を聞ける。	話を聞けたら次に、身振りや表情などで返答することができる。	
2年級	朝の会を通して自分の好きな、得意なことを話せる。	朝の会を通して、話す内容を、聞き手から聞き取ることができる。	
3年級	身近な人と自分とのつながりについて話せる。	「どうぞ、」という声かけに対し、その場に応じた適切なやり取りができる。	
4年級	朝の会と一緒に活動について話せる。	朝の会や朝の会など、活動の展開に合わせ、理解や表情を伝えることができる。	
5年級	朝の会の話を聞きながら、自分の話を聞かせることができる。	朝の会の話を聞きながら、自分の話を聞かせることができる。	
6年級	朝の会を通して、自分の話を聞かせることができる。	朝の会を通して、自分の話を聞かせることができる。	

単元名	学習活動	手立て (環境づくり)	評価
			前期 中期 後期

(単元全体の振り返り)

物理的支援環境	人的支援環境
① 教材・教具、支援ツールの効果的な配置 a 動線の整理 b 配置位置、間隔 ② 児童生徒の発達段階や障害特性に合った支援ツールの活用 a 理解を助ける b 動きを引出す c 活動の終わりの明示	③ 教師の役割 a M T と S T の役割、連携 b 立ち位置、動線 c 効果的な支援の仕方 ④ 児童生徒の役割 a 活動のモデル b 係の役割 c 位置、動線 d ペア・グループ活動

<チェックシート>

<授業づくりシート>

<環境づくりの四つの視点>

【研究の概念図】